

医学研究実施のお知らせ

岩手医科大学附属病院（循環器内科）では、以下の研究を実施しております。

この研究は、これまでの治療のカルテ情報から得られた研究データをまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【研究課題名】

「成人先天性心疾患を合併した症例における心房細動アブレーションの予後の検討」（多施設共同研究）

1. 研究対象者

2008年1月1日から2025年12月31日までに心房細動に対して当院でカテーテルアブレーションを受けた患者さんを対象とします。（当院は約20症例を予定）

なおご協力いただく際の経済的負担はございません。また、謝礼もございません。

2. 研究期間

2020年8月6日から2035年12月31日まで。研究の経過次第では、倫理審査委員会の承認を受けた上で延長される場合があります。

3. 研究の目的

先天性心疾患を有し、薬剤でコントロールが困難な頻脈性不整脈を有する患者さんに対して行われるカテーテルアブレーションは、予後を改善する治療法の一つです。一方で、複雑な解剖や手術前・手術後を問わず瘢痕化した組織を有していることにより、成人先天性心疾患を有する方へのカテーテルアブレーションの成績は基礎心疾患を有さない方と比べて不良とされています。

本研究では、先天性心疾患を有する成人患者さんにおいて、どのようなアブレーション治療が望ましいか、過去にアブレーション症例を解析することにより検証して参ります。

4. 研究の方法

本研究の対象となる患者さんは、2008年1月1日から2025年12月31日までに当院で心房細動に対して初回のカテーテルアブレーションを受けた患者さんです。

術前・術後に行なった検査結果（心電図、採血、心臓超音波検査）、術中に得られた心内心電図データ、治療に使用された3次元マッピングシステムのデータ、および術後の再発の有無などの情報を登録し、解析させていただきます。通常の検査・治療以外には特別なことはありません。この研究で計測されたデータは、筑波大学附属病院が取り扱います。個人情報には匿名化され個人が特定されることはありません。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

- ①あなたの年齢、性別、生年
- ②術前・術後・外来経過中に施行された各種検査結果（採血・心電図・心臓超音波検査結果など）
- ③アブレーション治療の詳細
- ④術後の不整脈再発の有無 等

6. 外部への資料・情報の提供

この研究では以下の機関に資料・情報等を提供致します。

提供先の機関：筑波大学循環器内科

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

提供方法：データ入力用シートに入力後、ファイルにパスワードをかけて送信する。

対応表は当院の担当医師が保管・管理します。

7. 研究組織

【研究代表機関および研究代表者】

筑波大学医学医療系 循環器内科 家田 真樹

【主な共同研究機関】

岡山大学医学部附属病院 循環器内科 赤木 禎治

自治医科大学附属病院 循環器内科 渡邊 裕昭

東邦大学大橋病院 循環器内科 原 英彦

福島県立医科大学 循環器内科 金城 貴士

九州大学病院 循環器内科 坂本 和生

京都府立医科大学附属病院 循環器内科 山野 倫代

8. 研究費および利益相反

この研究は岩手医科大学内科学講座循環器内科分野の講座研究費を用いて行われます。研究者は本研究に関係する企業等から個人的及び大学組織的な利益を得ておらず、開示すべき利益相反はございません。

9. お問い合わせ先

岩手医科大学附属病院 循環器内科

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通 2 丁目 1 番 1 号

電話：019-613-7111（内線：6415） ※平日 09：00～17：00

FAX：019-907-7279

当院の研究責任医師：小松 隆

当院の実務担当医師：芳沢 礼佑

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。

-----以上